

レジメン名称: オブジーボ(2 週毎) + ヤーボイ q6w 根治切除不能進行・再発食道癌

ID _____ 患者氏名 _____ 様 (性別 _____)

身長 _____ cm 体重 _____ kg 年齢 _____ 歳 体表面積 _____ m²

薬剤	投与量	投与日		
		1 コース 6 週間		
		Day 1····8····15····22····29····36····43		
オブジーボ	240 mg/body	↓	↓	↓
ヤーボイ	1mg/kg	↓		

注意事項

オブジーボ、ヤーボイのルートにはフィルター付き輸液セット (ニプロフィルターセット STFPGP-20BRCG) 使用

オブジーボ、ヤーボイ：インフュージョンリアクション (気管支痙攣、蕁麻疹、低血圧、意識消失、ショックなど) に注意。

初回および規定以上に間があいた時：心電図モニター、BP、HR などの確認の必要あり (詳細は投与方法の項を参照)

CV ポート使用時は、オブジーボによる微粒子発生リスク低減のため、レジメンどおりに生食でルートキープし、オブジーボはレジメンどおりの希釈濃度で投与してください。

特に注意する副作用

間質性肺疾患、重症筋無力症・心筋炎・筋炎・横紋筋融解症、大腸炎・小腸炎・重度の下痢・消化管穿孔、1 型糖尿病、重篤な血液障害、劇症肝炎・肝不全・肝機能障害・肝炎・硬化性胆管炎、甲状腺機能障害、下垂体炎・下垂体機能障害、神経障害、腎障害、副腎障害、脳炎・髄膜炎・脊髄炎、重度の皮膚障害、静脈血栓塞栓症、インフュージョンリアクション、血球貪食症候群、結核、膵炎、重度の胃炎、ぶどう膜炎

投与方法：1 日目	
1	(ケモセーフ不要) 生食 100mL メインルートをプライミング
2	オブジーボ 240 mg , 生食 40 mL (生食 100 のボトルを使用) フィルター付き輸液セット使用 30 分かけて点滴、メインルートから投与 初回および 8 週以上あいた時、下記を実施 心電図モニター 投与前、5 分後、15 分後、終了時後：BP、HR 測定 投与前、5 分後、15 分後、終了時後：全身状態の確認 (呼吸苦、悪寒、発疹、掻痒感、気分不良、嘔気)
3	生食 50mL 30 分で メインルートから投与
4	ヤーボイ _____ mg , 生食 (生食 50 のボトルを使用) フィルター付き輸液セット使用 ◆◆ヤーボイ 50mg 以上の時、全量 50mL となるように生食を調節◆◆ ◆◆ヤーボイ 50mg 未満の時、1mg/mL となるように生食を調節◆◆ 30 分かけて点滴、メインルートから投与 初回および 24 週以上あいた時、下記を実施 心電図モニター 投与前、5 分後、15 分後、終了時後：BP、HR 測定 投与前、5 分後、15 分後、終了時後：全身状態の確認 (呼吸苦、悪寒、発疹、掻痒感、気分不良、嘔気)
5	生食 100mL メインルートから、ゆっくり、ウォッシュアウト 適宜途中終了可、残は破棄

投与方法：15、29日目	
1	(ケモセーフ不要) 生食 100mL メインルートをプライミング
2	オブジーボ 240 mg , 生食 40 mL(生食 100 のボトルを使用) フィルター付き輸液セット使用 30 分かけて点滴、メインルートから投与 初回および 8 週以上あいた時、下記を実施 心電図モニター 投与前、5 分後、15 分後、終了時後：BP、HR 測定 投与前、5 分後、15 分後、終了時後：全身状態の確認（呼吸苦、悪寒、発疹、掻痒感、気分不良、嘔気）
3	生食 100mL メインルートから、ゆっくり、ウォッシュアウト 適宜途中終了可、残は破棄